

## 授業時 子供に合った説明をする

なかなか算数の学習に興味をもてないLさん。

M教諭は、何とか興味をもってほしいと考え、「割合」の学習の導入に、子供たちが今休み時間に熱中しているバスケットボールのことを話題として取り上げることにした。

「休み時間、みんなよくバスケットをして遊んでいるよね。みんなどのくらいシュートが入るのかな？」

Lさんの目が輝いた。

「今日は、Lさんは、1本しかはずさなかったんだよ。」

M教諭は、このことを使って、学習に入っていた。Lさんはいつになく意欲的であった。

しかし、その時間も終わりに近づき、計算して自分で問題を解く段階になると、Lさんの鉛筆が動かなくなった。そのことに気付いたM教諭は、そっと近づいて、計算の方法をもう一度個別に説明した。

「あっ、そうやればいいのか。」

Lさんは計算を始めた。



「限られた時間の中で、どの子供にもよく理解させたい。」教師なら誰でも、そう考えていると思います。発問や説明のしかたなどを工夫する際に、次のような点も心がけてみてください。

### 子供が興味・関心のある事柄を取り上げて説明する

子供たちの中には、なかなか学習に興味をもてない子がいます。しかし、地域での出来事やスポーツ・マンガなど自分の身近な話や好きなことには、目を輝かせて飛びついてくることもよくあります。そのためにも、日ごろから子供とのコミュニケーションを十分にとり、興味や関心のあることなど、一人一人についての理解を深めておくことが大切です。そのことを生かした授業計画を立てていくとよいでしょう。

### 一人一人の理解度を確認しながら話す

説明をしながら、子供の様子や表情をよく観察しましょう。もし、よく理解できていない様子が見られたら、説明の方法を変えてみたり補助教材を使ったりなどの工夫が必要です。

また、必要に応じて、個別指導を取り入れることも有効です。

### 声の大きさを工夫し、メリハリのある話し方を心がける

同じことを話すのでも、メリハリのある話し方や動作、提示する資料などを工夫することで、子供の注目を引き、集中力を高めることが可能になります。教師は、ある意味演技者になり、分かりやすい説明を心がけましょう。